

# はちゅうるい 高知県の爬虫類

## 【現 状】

高知県では移入種を除き、2目8科16種（表1）の爬虫類が確認されています。高知県に生息する種の構成は、本州や九州とあまり変わりません。



写真1. シマヘビ普通色



写真2. シマヘビ黒化型



写真3. ヤマカガシ普通色



写真4. ヤマカガシ黒化型

種としては変わりませんが、シマヘビとヤマカガシは、本県ではカラスヘビと呼ばれる黒化型が多く見られます（黒化型の個体は、伊豆諸島などでも見ることができます）。両種は全国的に分布する普通種です。シマヘビの普通色は、黄土色の地に頸部から4本の黒褐色の縦縞が目立ちます。ヤマカガシの普通色は、褐色の地に赤と黒の斑紋が交互に並んだ模様です。黒化型の個体の種の判別は一見困難なようですが、鱗のキール（畝）の有無で容易に判別することができます。いずれも県内の水

田周辺で普通に見られ、交通事故による轢死体で発見される例も少なくありません。

## 【変 化】



写真5. イシガメ



写真6. クサガメ

ニホンイシガメは、全国的に個体数が減少している種であり、愛媛県、徳島県および香川県ではいずれも県版レッドデータブック（RDB）に掲載されています。しかしながら、高知県ではいまだ比較的容易に観察できることは興味深いです。一方で、

クサガメは高知県で確認できる所はあまり多くないのに対して、愛媛県、徳島県および香川県では容易に観察できます。つまり、これら2種のカメの生息状況は、四国山地を境に太平洋側と瀬戸内海川で逆転しているのです。なお、県内のペットショップでは、銭亀として販売されているのは他県同様クサガメの子供です（かつては、銭亀とはイシガメの子供でした）。

## 【人との関わり】



写真7. 漂着したアカウミガメスクリュウにあたったのか、甲羅が割れていました。



写真8. ヒバカリ  
オタマジャクシがカエルになるころ、小さなカエルを狙って水辺に現れます。



写真9. ミシシippアカミミガメ  
ミドリガメです。大きくなると30cm以上になり、日本にもともといる水辺の生きものを食べてしまいます。

高知県 RDB には、アカウミガメ(写真7)が絶滅危惧 I B 類 (EN)、ヒバカリ(写真8)が準絶滅危惧 (NT) に指定されています。

アカウミガメが産卵のため上陸する海岸は県内で 26 ヶ所知られていますが、ほとんどの場所で上陸産卵個体数は減少しているようです。これは、砂浜の衰退や産卵時期に産卵場所への車の乗り入れなどによる環境の悪化が要因といわれています。高知県ではこのような状況をかんがみ、平成 16 年に「高知県うみがめ保護条例」を施行し、室戸市に「元・岩戸・奈良師海岸うみがめ生育地等保護区」を、土佐清水市に「大岐浜うみがめ生育地等保護区」を設定しました。また、産卵に訪れる砂浜の近辺の小学校や中学校では環境学習の一環として、砂浜の清掃や人工孵化の取り組みを行っています。なお、成体のアカウミガメは、船のスクリュウにぶつかって傷を負ったり、死体で見つかった体内から大量のビニール袋や紐などが出てきたりと、人との関係が深い動物のひとつです。

ヒバカリは全長 50cm ほどの小型のヘビで、カエルやドジョウ、ミミズなどを捕食します。県内では、ヒキガエルやアカガエル類の上陸時期に水田周辺の草むらでよく見かけます。そのため、水田は重要な生息環境ですが、近年の大規模圃場整備による灌漑システムの変化や休耕田の増加などによって生息環境の悪化が心配されています。

高知県 RDB では、情報不足 (DD) としてスッポン、ジムグリ、シロマダラ、タカチホヘビが指定されています。

本州および九州とは海で隔てられている四国にも、人によって移入された外来生物が多く確認されています(表2)。

このうち、野外での繁殖が確認され、本県に定着していることが確認されている種は、ミシシippアカミミガメ(写真9)です。鏡川や国分川など高知市中心市街地周辺のほとんどの河川や水路で姿を見ることができるようになってしまっています。これらの種に関しては、今後状況把握のための継続的なモニタリング調査を実施すること、場所によっては根絶のための駆除施策を講じる必要があると考えます。また、現時点では定着していない種についても、引き続き情報収集を実施することは重要です。

谷地森秀二(四国自然史科学研究センター)

表1. 高知県で確認されている爬虫類

目	科	種	
カメ目	ウミガメ科	アカウミガメ	
	イシガメ科	ニホンイシガメ クサガメ	
有鱗目	スッポン科	ニホンスッポン	
	ヤモリ科	タワヤモリ ニホンヤモリ	
	トカゲ科	ニホントカゲ	
	カナヘビ科	ニホンカナヘビ	
	ナミヘビ科	タカチホヘビ アオダイショウ シマヘビ ジムグリ ヒバカリ シロダラ ヤマカガシ	
	クサリヘビ科	ニホンマムシ	
	2目	8科	16種

表2. 高知県で確認されている国外移入種

目	科	種	外来生物法での別
カメ目	ヌマガメ科	アカミミガメ	要注意外来生物
	カミツキガメ科	カミツキガメ ワニガメ	特定外来生物 要注意外来生物
有鱗目	イグアナ科	グリーンイグアナ	要注意外来生物
2目	3科	4種	

